



のびよし はると
延吉 陽翔さん【生山】

令和6年2月5日生まれ

(父) 凌汰さん (母) 優花さん

大きいじいじとお姉ちゃんが大好き。ときにはお姉ちゃんの絵本やおもちが欲しくて「はると！だめー！」と怒られることもあります。ごはんを食べるのも好きで、好き嫌いなくよく食べてくれます。

「ねえねと遊んでよく笑う陽翔。たくさん食べて、遊んで、思いやりや優しさを持った元気な子に育ってね」とご両親。



さえき こうゆう
佐伯 昊優さん【生山】

令和6年2月17日生まれ

(父) 晋介さん (母) 歩実さん

ハイハイやつたい歩きが上手になって、すぐ大好きなお姉ちゃんのもとへ行き2人で遊んでいます。

食べることも好きで、まだ上手にすくえないけど、スプーンを持って自分で食べようとする姿から成長を感じます。

「健康で思いやりのある優しい子に育って、好きなことをたくさん見つけていろんなことに挑戦してね」とご両親。



よしおが れお
吉岡 玲陽さん【三栄】

令和6年3月14日生まれ

(父) 陽輝さん (母) 愛里さん

お姉ちゃんを一生懸命に追いかけて一緒に遊んだり、ときにはケンカをしたりしています。

食べることに寝ることが大好きで、好物のヨーグルトやお米をたくさん食べて、お気に入りの布団で寝るのを繰り返しています。

「食べることに寝ることが大好きな玲陽くん。大好きなお姉ちゃんと仲良くなぐましく育ってね」とご両親。



交流支援員

ノミン

月刊 ゴヨゴヨ

皆さん こんにちは！

モンゴルのゾーンモド市の出身で交流支援員のノミンです。

今月の「月刊ゴヨゴヨ」のコーナーでは、モンゴルの春はどうやって始まるのかについてお伝えします。

モンゴルの春はどんなイメージでしょうか？

モンゴルの皆さんは遊牧民族なので、家畜とともに生活しています。家畜とはラクダ、牛、馬、ヤギ、羊のことを言います。

日本人から見ると、こういう家畜は普通の動物みたいに感じられるかもしれませんが、モンゴル人にとって家畜とはモンゴル人の生活に欠かせない大切な宝物です。

モンゴル人の主食は肉です。毎日の食事では肉で作った料理が食べられます。モンゴルでは、それぞれの世帯が自分の家畜の数を1000頭にすることを目指して一生懸命に頑張っています。モンゴルの遊牧民族にとって春は一番忙しい季節です。

厳しい冬を乗り越えて、春に向かってモンゴルの正月「ツァガーンサル」が行われます。「ツァガーンサル」が終わるとモンゴルの広い草原にある家畜小屋でたくさん子家畜が生まれ、あちらこちらに子家畜の鳴き声が聞こえてきます。その鳴き声はモンゴルの春が近づいているということです。

また、山の雪が溶けた地面から美しいピンク色の花が咲き、これを食べたヤギの肉は人間の体に栄養を与えていると言われています。モンゴルの春がやってきました。



私のおばあさんが子ヤギたちと遊んでいる写真です